**第79歩**

## 「屋島の未来をつくる、新しい交通の挑戦」

国指定の天然記念物であり史跡であり、名勝でもある本市のシンボル屋島。その山上に広がる絶景や歴史遺産は、本市にとってかけがえのない宝であり、多くの観光客や市民の皆さまに親しまれています。しかしその一方で、行楽シーズンや連休のたびに頭を悩ませてきたのが、山上へと続く屋島スカイウェイ周辺の慢性的な交通渋滞です。車列が長く延びることで、訪れる皆さまの貴重な時間が奪われるだけでなく、環境への負荷や緊急車両の通行への懸念など、解決すべき重大な課題があります。

この長年の課題に本格的なメスを入れるため、本市では５連休となった９月のシルバーウィークという絶好の機会を捉え、交通需要マネジメント（ＴＤＭ）に関する大規模な社会実験を行いました。今回の実験の柱は大きく二つあります。一つは、屋島山麓に臨時の駐車場を設け、そこから山上まで無料で連絡バスを運行する「無料パーク＆バスライド」の実施です。そしてもう一つは、混雑状況に応じて駐車場料金を変動させる「ダイナミック・プライシング」の導入です。これらを組み合わせることで、マイカーの利用をうまく分散させ、公共交通へのスムーズな転換を促すことを目指しました。

実験期間中、現地では多くの係員が誘導に当たり、リアルタイムの駐車場情報の発信を行うなど、万全の体制で臨みました。ドライバーの皆さまにおかれましては、普段とは異なる駐車場料金や新しい仕組みに戸惑われた部分もあったかと推察しますが、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申しあげます。新しい試みには、必ず予期せぬ課題や改善すべきポイントが見えてくるものです。今回の実験で得られたデータや、利用者の皆さまから寄せられるアンケート結果などは、今後、専門的な視点から詳細に分析を行ってまいります。

今回の取り組みは、単なる一過性の渋滞対策にとどまるものではありません。それは、屋島という素晴らしい観光資源を次世代へと持続可能な形で引き継ぐための、大きな第一歩です。「歩いて楽しい観光地」、「環境に優しいスマートシティ」の実現に向け、行政と市民、そして来訪者の皆さまが一体となって知恵を絞り、挑戦を続けていく必要があります。私たちは今回得られる知見をしっかりと受け止め、誰もが快適に屋島の魅力を堪能できるよう、より実効性の高い恒久的な交通システムの構築に向けて検討を進めてまいります。引き続き、本市の観光振興とまちづくりに対する温かいご理解とご協力をお願い申しあげます。

